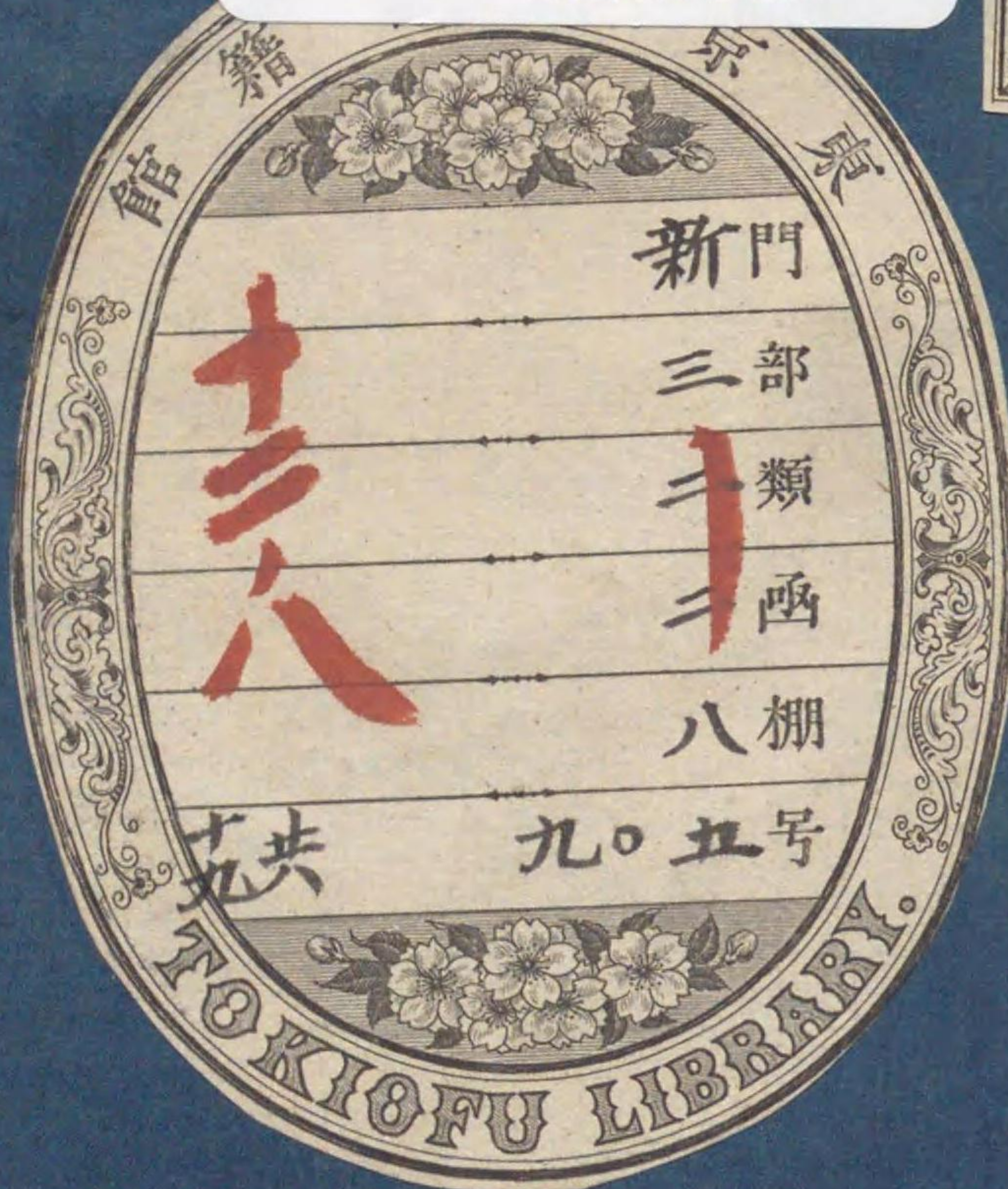


解剖訓蒙筋論 七



Y994-J10255
1200901349498

509
古くは



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Y994

J10255

解剖訓蒙卷之七

米利堅 解剖學教頭約瑟列第著

日本 文部省出仕副嶋之純譯

筋論

下肢

トロレニウチリス、スハ、身体ヲ支撐シ、且ツ運送

スル者ナレハ、上肢ヨリモ巨大且ツ強剛ニシテ、

其筋最モ有力ナリ、而ツ兩膝ノ後方ニ於ケル部

位ヲ^甲臀^{ハツト}クスト云ヒ、其中央ニ肛門ノ裂間アリテ

之ヲ左右ニ分チ下方ニ於テハ^乙坐骨下溝^{スツブア}

解剖訓蒙

卷之七

一



I 種

W



1200901349498

ル者ノ如ク、多ハ兩層ニ分界スヘシ、而シテ其内層ハ薄且ツ膜状ニシテ、外層ハ組織粗疎、且ツ多少脂肪ヲ有セリ、其莢膜、臀ニ於テハ、一般ニ大量ノ脂肪ヲ有シ、股及ヒ脛ニ於テモ、亦タ脂肪ヲ有シ、大轉子及ヒ膝蓋ニ於テハ、之ニ代ルニ關節膜囊ヲ以テシ、蹠ニ於テハ、常ニ脂肪ヲ有シ、且ツ直チニ皮膚ノ組織ニ癒合シ、踵及ヒ第一、第五蹠骨ノ屈折部ニ於テハ、關節膜囊ヲ有セリ、而シテ此莢膜ノ脂肪層ト膜層トノ中間ニ於テ、表靜脈、及ヒ皮神經通過セリ、

甲
不シア、クリ、フリ、
ロサ、

崩蹠、及ヒ尻骨盤ノ脂肪層ハ、腹表莢膜ノ脂肪層ニ連合シ、膜層ハ、ホーハルト韌帶、及ヒ腸骨嵴ニ固着ス、母孔ニ於テハ、其近傍ノ皮下脈ニ由テ、穿孔ヒラル、故ニ此部ニテハ、節状莢膜ルクルム、スシリ、ホ

一云フ、
下肢ノ深莢膜ズヂ、井、プ、ハ、上肢ニ於ル者ノ如ク、全

ク下肢ヲ被包シ、其一部延長シテ、諸筋ノ間タニ達シ、且ツ血管ノ室ヲ為ス、蓋シ其部位ニ隨テ、之

ヲ股莢膜、脛莢膜、及ヒ足莢膜ト云フ、

股莢膜スヘモ、アラ、ル、ハ、腸骨嵴、薦骨ノ後部、尾骶骨ノ

乙
スシア、ヘモリス、

後部坐骨ノ縁、及ヒ耻骨ノ縁ニ沿テ固着シ、ホ
 ハルト、靱帯ニ連合ス、大腓筋上ニ於テハ、薄キ被
 包ヲ為シ、爾後直チニ股ノ外全部ヲ下行スルニ
 於テ、厚硬ニ變シ、殆ト腱膜状ヲ呈ス、蓋シ此部ハ、
 縦纖維ヨリ成リ、横纖維ヲ以テ、之ヲ強韌ニシ、而
 ノ其上方ハ、中臀筋ノ起點ノ一部ヲ授ケ、後チ大
 轉子ヲ越エテ、大臀筋ニ着點ノ一部ヲ受ケ、股莖
 膜張筋ヲ包羅シ、且ツ此筋ノ着點ヲ受ク、股ノ外
 部ヨリ内部ニ達スルニ於テ、逐次ニ再ヒ薄ク為
 リ、多クハ横纖維ノミヨリ成レリ、

此膜、諸筋ノ間ニ於テ延長シ、即チ其中隔ヲ成セ

リ、而ノ就中最モ要用ナル者ハ、所謂外筋間膜キエ

ス、テ、ル、ナ、ル、井、チ、シ、ル、ム、ト、内、筋、間、膜、井、井、シ、テ、ル、ナ

ム、ス、モ、チ、シ、ル、ナ、リ、甲、ハ、強、韌、ナル、者、ニ、シ、テ、四、頭、伸

筋ト、兩頭屈筋トヲ分界シ、大臀筋ノ着點、即チ大

腿骨ノ外髌ヨリ、其粗疎線ニ固着シ、乙ハ、四頭伸

筋ト、諸内送筋トヲ分界セル、薄キ中隔ニシテ、内

髌ニ達セル、粗疎線ニ固着シ、而シテ此膜、膝部ニ於

テハ、伸腱、及ヒ屈腱ヨリ、萌蘗ヲ受ケ、以テ關節ヲ

普ク被覆シ、脛莖膜ニ連合ス、鼠蹊下ニ於テハ、股

腋ト股脱腸トニ關與シテ、最モ有要ナレハ、殊ニ
注意セサルヘカラス、且ツ此膜ニテ被色セル筋
名ニ隨テ、其内部、及ヒ外部ヲ耻線莖膜及ヒ縫匠
莖膜ト云フ、

甲
スシアサチオヒ
ロカ

耻線莖膜 ルヘクシチアアハ 股脈ノ後方ニ於テ、耻線

筋ヲ被色スル者ニシテ、耻骨ノ体、及ヒ其耻線ニ
沿テ固着ス、蓋シ此莖膜ノ縁ハ、大兔筋、及ヒ腸骨
筋ヲ覆ヘル、腸骨莖膜縫匠莖膜ノ後層トニ連合
ス、

乙
スシアサチオヘ
チ子ア

縫匠莖膜 サルトリアハ 縫匠筋ヲ被色シ、而後チ

甲
ホツサオハリス

乙
プリカハルシホルミス

胤蹊ニ於テ、ホ一ハハ、ト鞞帶ニ沿テ固着シ、且ツ
股脈ノ前方ニ達スルニ於テ、耻骨ヨリ下方ニ「イ
ンチ」ノ處ニテ、耻線莖膜ニ連合セリ、蓋シ此兩着
點ノ中間ニ於テ、卵圓部アリ、之ヲ「母孔」サヘノ
ト稱ス、長母靜脈、爰ニ來リテ、股靜脈ニ結合
スル部ナレハナリ、此母孔ノ外部ハ、此莖膜ノ半
月様縁、所謂「鐘状突起」ハルシホルニテ、其境界ヲ
標ス、而テ此突起ノ上端ハ「ダ」ンヘル、ト鞞帶ニ
連合シ、下端ハ耻線莖膜ニ連合ス、母孔ノ内部、及
ヒ其底ハ、股脈ノ後方ニ於テ、耻線莖膜ノ内方ヨ

リ外方ニ沈没スルニ由テ造成スルナリ
表莢膜ハ一部即チ母孔ヲ填實スル部ハ近傍ト
股脛トノ間ニ通スル數多ノ表小脈爰ニ穿孔ス
ルヲ以テ亦々節状莢膜ルクムブリホト云ヒ鑷状
突起ニ連合ス而テ此莢膜ヲ除去スルキハ鑷状突
起ノ股脛ヲ覆ヘルヲ視ルヘシ且ツ其下端及ヒ
上端ハ能ク著明ニシテ其中部ハ稍ヤ不明ナリ
脛莢膜スシムラハ多クハ著明且ツ能ク強靱ニ
シテ小腿輔腿兩骨ノ頭、小腿骨ノ前内兩緣及ヒ
兩髁ニ固着ス蓋シ縫匠筋、薄股筋、半腱筋及ヒ兩

甲
スシムラハ多クハ著明且ツ能ク強靱ニ

頭筋ノ着點ノ腱ヨリ筋蘂ヲ受ケテ多クハ横織
維ヨリ成リ而テ脛ノ外部ニ於テ最モ強靱ト爲
リテ諸筋頭ノ起點ノ一部ヲ換ケ以テ其筋間膜
ニ連合ス脛ノ後部ニ於テハ最モ薄ク爲リテ腓
ノ表筋ヲ覆ヘル一層ト表筋ト深筋ノ間ニ在ル
一層トニ分界ス

此莢膜、踝關節ノ近傍ニ於テハ纖維ヲ副加シテ
愈々強靱ト爲リ乃チ環状靱帶ヲ造成シ諸筋ノ腱
ヲ脛ヨリ足ニ達スル處ニ於テ屈曲セシム環状
靱帶三個アリ以下之ヲ辨説ス

甲
リカメンシム、アン
ニユラル、アンテリウス

解剖学 卷之七

前環状靱帯アンテリオル、リガメント、ハ、前外部ニ達シ、其層中ニ數個ノ境界ヲ成シテ、諸腱ヲ含有シ、之ヲ以テ踝關節ヲ横行セシム、是故ニ長諸指伸筋ノ腱ハ、輔腿骨ニ接スル境界ヲ領シ、前小腿骨筋ノ腱ハ、小腿骨ニ接スル境界ヲ領シ、大趾伸筋ノ腱ハ、中間ノ境界ヲ領ス、而テ前小腿骨脈、及ヒ神經ハ、此靱帯ノ後方ニ在リ、踝關節ノ上方ニ於テ、纖維帶アリ、横靱帯タラン、リガメント、ト云フ、小腿、輔腿両骨ノ前ニ擴張ス、時トノハ

甲
リカメンシム、アン
ニユラル、アンテリウス

之ヲ前環状靱帯ノ一部ト做セリ、其他纖維帶アリ、外踝ヨリ、前環状靱帯ヲ横行シテ、跗骨ノ内側ニ達ス、

内環状靱帯井テ、リガメント、ハ、内踝ヨリ、距骨ノ後部、及ヒ跟骨ノ内側ニ達セル、粗疎ナル纖維

帶ニシテ、内踝ノ後方ニ於テ、其溝ヲ覆ヒ、以テ管ト為シ、後小腿骨筋ノ腱、及ヒ長屈筋ノ腱ノ通路

ヲ成ス、距骨ノ後跟骨ノ底ニ於テ、亦タ溝ヲ覆ヒ、以テ管ト為シ、長大趾屈筋ノ腱ノ通路ヲ成ス、此

兩路ノ間々、更ニ後小腿骨脈、及ヒ神經ヲ通過セ

薄キ筋葉アリ、表方ニ在テ、此靭帶ヨリ、アキ
 リス腱、及ヒ跟骨ノ結節ニ達ス、
 外環状靭帶ハ、前靭帶ニ比スレハ、稍ヤ不明ニシ
 テ、亦タ粗疎ナル纖維ヨリ成リ、外踝ヨリ放線シ、
 跟骨ノ外部ニ固着シ、而シテ諸補腿骨筋ノ腱ヲ
 屈下セシム、
 以上主靭帶ノ底下ニ於テ、諸筋ノ腱通過シ、乃チ
 脛ヨリ、足ニ達スルヤ、關節膜囊ヲ以テ被包ス、
 足背莢膜トシラサルハ、前環状靭帶ノ薄キ延長部
 ナリ、
 蹠莢膜ル、ラシハ、三部ヨリ成リ、乃チ掌莢

甲
スシア、トルサリス

乙
スシア、プランタリス、

膜ノ如シ、而シテ其内外三部ハ、薄クシテ大趾、及ヒ
 小趾ノ小筋ヲ被包シ、中部ハ、最モ強靭ニシテ、掌
 莢膜ノ中部ニ匹敵ス、此莢膜ハ、縦徑ノ分歧纖維
 ヨリ成リ、而シテ横徑纖維ヲ以テ、自ラ強靭ニシテ、
 三角形ヲ為シ、短諸趾屈筋ヲ被包シテ、其起點ノ
 一部ヲ授ク、此三角形ノ尖頭ハ、跟骨ノ結節ニ固
 着シ、其基礎ニ、分歧シテ、五個ノ延長部ト爲リ、各
 再分シテ、蹠骨趾骨靭帶、及ヒ近傍ノ莢靭帶ニ附
 着ス、其兩側ハ、此莢膜ノ側部、及ヒ蹠ニ沈没セル
 筋間膜ニ連合ス、

英韌帶 ガハジナルリ ハ、諸趾ノ屈腱ヲ含有ス、其装
置ハ、手指ノ英韌帶ノ如シ、

諸脛筋

大脛筋 ク、ル、ム、ト、グ、ル、テ ハ、斜方形ノ厚塊ニシテ、

粗糙ナル束ヨリ成リ、尻骨盤ノ后部ヨリ、股ノ上
外部ニ達ス而シテ、腸骨喙ノ後部、薦坐兩骨ノ後面、
及ヒ大薦坐韌帶ヨリ起リ、其束外下方ニ進モテ、
厚キ腱膜ト為リ、大腿骨ノ大轉子ヲ越エ、股莖膜、
及ヒ大轉子ヨリ、粗線ニ達セル、中間ノ粗疎面ニ
附着ス、

甲
ムスグルス、グ、ル、テ
ウス、マ、グ、ニス、

甲
ムスグルス、グ、ル、テ
ウス、メ、ヂ、ウス、

此筋ノ下端ハ、殿肉ノ層ヲ造成シ、佇立スレハ、坐
骨ノ結節ヲ藏隠シ、坐スレハ、之ヲ露出セシム而
テ、此筋、其腱ト、大轉子トノ間ニ於テ、大ナル關節
膜囊ヲ有シ、又、大坐骨ノ結節トノ間ニ於テ、關
節膜囊ヲ有ス、

中脛筋 ム、ツ、ト、ル、ム、ス、ク、ル、テ ハ、其前部ハ、股莖膜ノ厚部

ニ覆ハル、後部ハ、大脛筋ニ覆ハレテ、腸骨喙ト、其
上曲線ノ中間、即チ其背面、及ヒ股莖膜ヨリ起リ、
肉束下行シ、輻輳シテ、短且ツ厚キ腱ト為リ、大轉
子ノ外面ニ附着ス而シテ、此筋モ、亦其腱ト、大轉子

甲
ムスクルス、グロテ
ウス、ニニス、

乙
ムスクルス、オブダ
ラートル、エキステ
ルニス、

丙
ムスクルス、ヒリホ
ルニス

人上部トノ間、タテ、於テ、關節膜囊ヲ有ス、
小腰筋「スモ、」スル、クル、テハ、前筋ニ隠レテ、腸骨ノ
上下兩曲線ノ中間、即チ其背面ヨリ起リ、輻輳シ
テ、腱ト為リ、大轉子ノ頂ノ内部ニ附着シ、亦タ大
轉子ト、腱トノ間ニ於テ、關節膜囊ヲ有ス、
外鎖孔筋「エキステル、」ナル、オブル、ハ、尻骨盤窩ノ外
方ニ位シ、鎖孔ノ縁、及ヒ其膜ヨリ起リ、輻輳シテ
腱ト為リ、大腿骨ノ頸ノ後方ヲ過キテ、轉子窩ニ
附着ス、
梨子状筋「ヒスリ、」クル、ム、ハ、尻骨盤窩内、薦骨ノ第二

甲
ムスクルス、オブダ
ラートル、井ンテル
ニス、

乙
ムスクルス、ゼミ
ニス、

三四片ノ前面、及ヒ薦腸兩骨縫合ノ下部ヨリ起
リ、大薦坐孔ヲ過キテ、尻骨盤窩ヲ出テ、輻輳シテ
圓腱ト為リ、小臀筋ノ底下、即チ大轉子ニ附着ス
内鎖孔筋「井ンテル、」ナル、オブル、ハ、亦タ尻骨盤窩
内鎖孔ノ縁、及ヒ其膜ヨリ起リ、輻輳シテ、腱ト為
リ、小薦坐孔ヲ過キテ、轉子窩ニ附着ス、
坐骨小截ハ、内鎖孔筋ノ運動スルニ當テ、其腱ノ
摩擦スル所ニシテ、纖維軟骨ニテ被覆シ、且ツ關
節膜囊ヲ有シ、件ノ運動ヲ容易ナラシム、
雙子筋「ゼミ、」ス、ハ、前筋ニ副テ、之ヲ圍繞シタ

二輻輳シ、而ノ股弓下ヲ過キテ、兔筋ト共ニ、大腿

甲
ムスクルス、フソア
ス、マヨル

骨ノ小轉子ニ附着ス、
大兔筋 アクレ、ムスト、ブルソ、ハ、背椎ノ末片、及ヒ腰椎ノ

各片ノ体側其横突起、及ヒ其椎間ノ圓盤ヨリ起

リ、尻骨盤ノ縁ニ沿テ、下行シ、股弓下ヲ過テ、腓ト

為リ、而ノ前筋ニ結合シテ、小轉子ノ後部ニ附着

ス、
此筋ノ上部一於テ、横膈ノ内弓韌帶アリテ、横行

セリ、脊椎柱ニ在ル、起點ニ於テ、諸腓狀弓アリテ、
此筋ト腰ノ動靜二脈、及ヒ交感神經ノ吻口纖維

トヲ分界セリ、而メ着點ノ腓ト、小轉子トノ間ニ

於テ、關節膜囊ヲ有ス、

甲
ムスクルス、フソア
ス、ミノル

小兔筋 アス、モ、ム、ス、ル、フ、ソ、ル、ハ、大兔筋ノ前方ニ位シ、腰

椎ノ第一二片ノ体ノ側部ヨリ起リテ、薄腓ト為

リ、以テ尻骨盤ノ縁ニ擴張シテ、腸骨莖膜ニ達シ、

乃チ腸耻隆起ニ結合ス、蓋シ此筋ハ、尋常缺亡ス

ル者トス、腸骨筋、及ヒ兩兔筋ハ、其起點ヲ固點ト
為スト、着點ヲ固點ト為スニ、随フテ、或ハ軀幹、或
ハ下肢ヲ前方ニ屈折シ、又ハ小轉子ヲ引クヲ以
テ、股ヲ外轉ス、而メ臀筋ト共ニ運動スルハ、能ク

解部
筋
卷之七

佇立ヲ維持セリ、

股前部ノ諸筋

甲
ムスクルス、テンソル、
ハジナ、ヘモラリス、

股^甲 莖膜張筋 ヘテ、モンソル、ル、オフ、ア、ハ、短且ツ扁平ニシ

テ、股ノ上外部ニ於テ、股莖膜ノ室中ニ位シ、縫匠

筋ト、臀筋トノ中間、即チ腸骨ノ前上棘状突起ヨ

リ起リ、大轉子ノ前方ヲ下行シ、其下方ニ於テ、股

莖膜ニ終レリ、

乙
ムスクルス、サル
リウス、

縫匠筋 ス、サルストクリウハ、長キ肉帶形ニシテ、腱ヲ以

テ、腸骨ノ前上棘状突起ヨリ起リ、斜メニ股ヲ下

行シテ、膝ニ到リ、又々腱ト為リテ擴張シ、以テ小

甲
ムスクルス、ガラシ
リス、

腿骨結節ノ直下、即チ其内側ニ附着ス、
此筋着點ノ腱ヨリ、又々延長シテ、脛莖膜ニ連合
シ、而シテ其腱ト、薄股筋トノ中間ニ於テ、關節膜囊
ヲ有ス、

此筋ハ、脛ヲシテ股ニ屈折セシメ、尚チ其作用持

久スレハ、脛ヲ牽引シテ、他ノ脛ト交叉セシム、

薄股筋 ム、ガラシリス、ハ、薄キ腱膜ヲ以テ、耻骨縫合

ノ縁、及ヒ耻骨ノ下行枝ヨリ起リ、長キ肉帶形ヲ

成シ、股ノ内部ヲ下行シテ、膝ニ到リ、乃チ狹腱ト

為リ、以テ擴張シテ、前筋ノ底下ニ附着ス、亦チ其

甲
ムスクルス、グホウ
ドリセプス、エキス
テソル、クリリス

乙
ムスクルス、レク
スヘモリス

腱ト、小腿骨トノ中間ニ於テ、關節膜囊ヲ有ス、
此筋ハ、股ヲ内送シ、且ツ前筋ノ作用ヲ扶助セリ
四頭伸筋 エキオウステソル ス、ハ、股ノ全前部、及ヒ
其側部ヲ填充スル者ニシテ、即チ四頭ノ起點ヲ
有セリ、曰ク直頭、外廣頭、内廣頭、及ヒ脚頭是ナリ
直頭 モスク ハ、兩個ノ短腱ヲ以テ、腸骨ノ前上棘状
突起、及ヒ髌骨ノ縁ヨリ起リ、其肉束、翅状腹ヲ成
シ、股ノ前方ヲ下行シ、乃チ強靱ニシテ、扁平ナル
腱ト為リ、膝ノ直上ニ於テ、他ノ三頭ノ腱ニ結合
ス。蓋シ他ノ三頭ハ、其互ニ結合スル、此頭ニ結

甲
ムスクルス、フス
ス、エキステル

乙
ムスクルス、フス
井ンテル
丙
ムスクルス、グル
ウス

合スルニ比ス、ハ、最モ親密ニシテ、時トシテハ
一筋ト做シ、四頭伸筋ト称セリ、
外廣頭 エキステル ナ、四頭中、最モ大ナル者
ニシテ、腱膜ヲ以テ、大轉子ノ基礎、及ヒ粗線ノ外
端ヨリ起リ、内廣頭 井ンステル ナ、只及粗線ノ内
端ノミヨリ起リ、脚頭 リクス ナ、前兩頭ノ中間、即
チ大腿骨ノ前面ヨリ起ル、而シテ内外兩廣頭ノ肉
束ハ、共ニ下前方ニ進ミ、脚頭ノ肉束ハ、直チニ下
方ニ進ミ、皆チ結合シテ、一個ノ廣腱ト為リテ、且
ツ直頭ノ腱ニ結合シ、以テ膝蓋ノ基礎、其兩側、及

其前面ニ附着ス蓋シ膝蓋ノ韌帶ヲ指シテ、四
 頭伸筋ノ腱、連續ト做セハ、則チ四頭伸筋、小
 腿骨ノ結節ニ附着セルナリ、
 此筋ハ、脛ト股ヲシテ、一直線ニ伸長セシム、而シテ
 此筋ヨリ、又々延長セル、肉束アリテ、大腿骨ノ下
 部ヨリ、膝関節ノ囊韌帶ニ達シ、乃チ其韌帶ノ位
 置ヲシテ、適宜ニ維持セシム、
 耻骨筋 ル、ム、ク、ナ、ク、ル、ハ、 耻骨ノ棘ト、腸耻隆起ト、
 中間即チ耻骨ノ横板ヨリ起リ、股ノ内側ヲ下行
 シ、小轉子ヨリ粗線ニ達セル線ニ附着ス、

甲
 ムスクルス、五クテ
 子ウス、

長内送筋 左ク、ン、ク、ル、ア、ド、ハ、 腱状ニシテ、前筋ト同シ
 ク、耻骨ノ前方ヨリ起リ、斜メニ下行シテ、大腿骨
 粗線ノ中央ニ附着ス、
 短内送筋 左ク、ル、ト、ハ、 前筋ニテ隠サレ、而シテ
 耻骨ノ体、及ヒ其下行枝ヨリ起リ、斜メニ下行シ
 テ、大腿骨粗線ノ上部ニ附着ス、
 丙内送筋 ドク、レ、ク、ト、ル、ア、ハ、 大ナル三角形ニシテ、股
 ノ前部ト、後部トノ中隔ヲ造成セリ、故ニ耻骨ノ
 下行枝坐骨ノ結節、及ヒ其枝ヨリ起リ、外下方ニ
 放線シ、腱ト為リテ、大腿骨ノ粗線ノ全徑ニ附着

甲
 ムスクルス、アドヒ
 クトル、ロンクス、
 乙
 ムスクルス、アドヒ
 クトル、ブレビス、
 丙
 ムスクルス、アドヒ
 クトル、マダミス、

解剖學 卷之七

且ツ腱條ヲ以テ、内髁ニ達ス、此筋ハ其下部ニ於テ穿孔シ、以テ股脈ノ通路ヲ成シ、其他、腱状着點ニ於テ、數個ノ小孔穿通シ、以テ、動靜二脈ヲ通過セシム、以上四筋ハ、股ヲシテ、尻骨盤ニ屈曲セシメ、且ツ股ヲ外轉シ、且ツ有力ナル、内送ノ作用ヲ為セリ

股後部ノ諸筋

兩頭屈筋 レビセプルス、フハ、長短ノ兩頭ニシテ、其長頭ハ、腱ヲ以テ、半腱筋ト共ニ、坐骨結節ノ後部ヨリ起リ、短頭ハ、大腿骨粗線ノ外下部ヨリ起リ、共

甲
ムスクルス、ビセ。プ
ス、ブレキソル、グリ
リス、

其肉束、腱膜ト為リ、且ツ束約シテ、粗疎ナル、腱ト為リテ、輔腿骨ノ頭ニ附着ス、此附着ノ腱ヨリ、又々兩箇延長シテ、一ハ、小腿骨ノ頭ニ附着シ、一ハ、脛莖膜ニ連合ス、

半腱筋

セミテ、ムスクル、ハ、前筋ノ長頭ト共ニ、坐骨

甲
ムスクルス、セミテ
ンチノーシス、

結節ノ後部ヨリ起リ、股ノ内後部ヲ下行シテ、大腿骨ノ殆ト中央ノ下方ニ於テ、其肉束長腱ト為リ、而シテ進テ、小腿骨結節ノ下方、薄股筋腱ノ着點ノ底下、即チ小腿骨ノ内側ニ附着ス、此筋、及ヒ薄股、縫匠二筋ノ起點ハ、尻骨盤中ニ在

甲
ムスクルス、セミノ
ムスラノシユス、

リ其相去ルヲ、殆ト同度ニシテ、共ニ輻輳シテ、小
腿骨ノ一局處ニ附着スル者ナリ、故ニ三筋同時
ニ發動スレハ、脛ヲシテ、他方ノ股ト交叉セシム
半膜筋 セミヌムスクラノハ、前筋ノ内側ニ位シ、廣
腱ヲ以テ、坐骨結節ノ後部ヨリ起リ、擴張シ、腱膜
ト為テ、此腱膜ヨリ、短肉腹ヲ生シ、又々進ンテ、腱
膜ト為リ、而シテ束約シタル、絲狀ノ腱ト為リ、以テ
小腿骨頭ノ内側ニ附着ス、此着點ノ腱ヨリ、又々
突起ヲ生シ、延長シテ、膝關節ノ囊韌帶ノ後部、及
ヒ膝膕筋ノ莢膜ニ到ル、

甲
ムスクルス、セミノ
ムスラノシユス、

以上三筋ハ、皆ナ脛ヲシテ、股ニ屈曲セシム、而シテ
兩頭屈筋ニ於ル、着點ノ腱ヲ、外膝膕帶 オウドル、ハ
ムストリ
グト云ヒ、他ノ二筋ニ於ル、着點ノ腱ヲ、内膝膕帶
ストリシル、ハム、ト云ヒ、其兩帶ノ中間ヲ、膝膕
ムハト
云フ、

甲
ムスクルス、チビア
リス、アンチモス、

脛ノ前外部及ヒ足ノ上部ノ諸筋
前小腿骨筋 アンテ、ムリ、オクル、チハ、ハ、 小腿骨ノ外上部
骨間膜、及ヒ脛莢膜ヨリ起リ、其腹脛ヲ下行シテ、
扁平ナル腱ト為リ、踝關節ノ環狀韌帶ノ底下ヲ
過キテ、足ノ内側ニ到リ、内楔狀骨、及ヒ大趾ノ蹠

甲

ムスクルス、エキス
テンソル、ロングス、
チギトリム、エヂス、

骨ノ根蒂ニ附着ス此筋ハ、足ヲシテ屈曲セシム、
長諸趾伸筋ソロン、オグ、エキ、トステ、ソハ、小腿骨ノ頭、輔
腿骨ノ全徑四分ノ三、上方骨間膜、及ヒ脛莖膜ヨ
リ起リ、其束腱ト為リテ、踝関節ノ環状靭帯ノ底
下ヲ下行シ、爰ニ於テ分裂シテ、四個ノ腱ト為リ、
各、大趾ノ他趾ニ到リテ、其背ニ擴張スルヲ、猶ホ
指伸筋ノ腱ノ如シ、
前輔腿骨筋子ア、ンテ、ムリ、オクル、パ、ロハ、前筋ノ下方、即
チ輔腿骨ヨリ起リ、亦タ腱ト為リテ、環状靭帯ノ
底下ヲ下行シ、終蹠骨ノ根蒂ニ附着ス此筋ハ、前

乙

ムスクルス、ペロ子
ウス、アンチキス、

甲

ムスクルス、プロプ
リウス、ホルリシス

小腿骨筋ヲ扶助シテ、足ヲ屈曲セシム、
大趾伸筋エキ、ス、クレ、ソ、トル、オハ、前小腿骨筋ト、長
諸趾伸筋トノ中間ニ位シテ、輔腿骨ノ下部、及ヒ
骨間膜ヨリ起リ、扁平ナル腱ト為テ、踝関節ノ環
状靭帯ノ底下ヲ過キ、大趾ノ背面ニ擴張シテ、其
終趾骨ニ附着ス、
短諸趾伸筋ソル、オト、エキ、トス、ハ、足背ニ位シテ
跟骨ノ外側、及ヒ踝関節ノ環状靭帯ヨリ起リ、四
個ノ肉腹ヲ成シテ、各腱ト為リ、進ンテ大趾ト、次
三趾ノ伸腱ニ結合ス、

乙

ムスクルス、エキス
テンソル、プレビス、
ナギトリム、ホルリ
シス、

甲
ムスクルス、ペロ子
ウス、ロンクス、

前部諸筋
長輔腿骨筋 アロル、ムグ、ムスコル子ハ、脛ノ外部ニ位シ、輔
腿骨ノ上部、其近傍ノ骨間膜、及ヒ脛莖膜ヨリ起
リ、其腹長腱ト為リ、以テ外踝ノ後方ニ於テ、其溝
ヲ過キ、后チ跟骨ノ外面ノ溝ニ沿ヒ進ンテ、蹠ニ
反轉シテ、骹子骨ノ溝ニ到リ、又タ斜メニ前内方
ニ進ミ、卒ニ第一蹠骨ノ根蒂ニ附着ス、
此長腱進行スルニ於テ、方向ヲ變換スルト、二廻
ナリ、即チ初廻ハ、輔腿骨ノ下端ニ於テシ、再廻ハ、
骹子骨ニ於テス、而シテ其兩廻點ニ於テ、此腱厚キ
纖維軟骨性ト為リ、殊ニ骹子骨ニ在ル、廻點ニ於

甲
ムスクルス、ペロ子
ウス、フレビス、

テハ、常ニヒサム骨ヲ含有セリ、外踝、及ヒ跟骨外
面ノ兩溝ハ、纖維帶ヲ以テ管ト變成シ、且ツ關節
膜囊ヲ以テ、其裏面ヲ被包ス、骹子骨ノ溝ハ、長蹠
韌帶ヲ以テ、亦タ管ニ變成シテ、關節膜囊ヲ有ス、
短輔腿骨筋 アロル、ムト、ムスコル子ハ、 輔腿骨ノ外面ノ下
部、及ヒ其近傍ノ筋間膜ヨリ起リ、其腹長腱ト為リ
テ、前筋ノ腱ト共ニ、外踝ノ後方ヲ下行シ、跟骨ノ
外面ヲ過キ、終蹠骨ノ根蒂ニ附着ス、
長短ノ兩輔腿骨筋ハ、足ヲシテ伸長セシム、故ニ
前輔腿骨筋、及ヒ前小腿骨筋ノ讐敵タリ、

解剖学 卷之十

脛後部諸筋

甲 ムスクルス、トリセ
プス、シレ

乙 シラ

丙 ムスクルス、ガスト
ロク子、ミス、エキ
ス、テルミス

丁 ムスクルス、ガスト
ロク子、ミス、ギン
テ、ルミス

三頭腓筋 トリセプス、シレハ、即チ三頭ヲ有シ、其腹

三箇ニシテ腓腸 カルフ、オフ、ヲ造成ス而シ、其二

個ハ、表部ニ位シテ、腓腸筋ト云ヒ、其一箇ハ、二個

ノ底下ニ位シテ、履底筋ト云フ、

腓腸筋 ガストロク子ハ、腱状ニシテ、大腿骨兩髁

ノ直上ヨリ起リ、二個相接シテ下行シ、共ニ強剛

ナル腱ト為レリ、

履底筋 ムスクルスハ、輔腿骨ノ頭、其全徑ノ上方一

半、膝膈筋ノ直下、即チ小腿骨ノ斜線其數「イ」チ

下方、即チ小腿骨ノ内縁ヨリ起リ、其腹斜メニ下
行シテ、腱ト為レリ、

此筋ノ腱膜ニ前筋ノ腱膜結合シテ、強韌ナル線

状、腱ト成レリ、之ヲ「**アキル**」人「**腱**」アキド、オト云

ヒ、下行シテ、跟骨結節ノ下部ニ附着ス、而シテ此腱

ト、其結節トノ中間ニ於テ、関節膜囊ヲ有ス、

以上ノ二筋ハ、跟骨ヲ牽引シテ、足ヲ趾上ニ舉上

セシム、即チ歩行スル時ニ於テ、然リ蓋シ童子等

常ニ踊跳シ、或ハ有力ノ運動ヲ為セハ、此筋ヲシ

テ増大セシム、

甲 テシト、アキルス

甲

ムスクルス、フラン
タリス、

足蹠

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

乙

ムスクルス、ホプリ
テウス、

膝脛筋

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

關節ノ囊韌帶ノ近傍ヨリ起リ、其腹短チレ、細
 腱延長シテ、前二筋ノ中間ニ達シ、乃チ「アキルス」
 腱ノ内縁ヲ下行シテ、之ト共ニ跟骨ニ附着ス。蓋
 シ此筋ハ、下臂ノ長掌筋ニ匹敵セリ、然レモ只々
 或ル下等ノ動物ニ於テ、蹠莖膜ニ結合ス、
 膝脛筋^乙ル、ムスラ^乙クテ、ハ、膝關節ノ直下ノ後方ニ位
 シ、腱ヲ以テ膝關節ノ外側韌帶ノ底下、即チ大腿
 骨ノ外髌ノ外側ヨリ起リ、小腿骨ノ上部ノ三角
 面ニ擴張シテ、茲ニ附着ス。蓋シ此筋ハ、半膜筋ノ

甲

ムスクルス、フレキ
ソル、ロンクス、チキ
トルム、

長諸趾屈筋

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

ムスラ

腱ニ結合セル、薄キ腱膜ニテ被包シ、且ツ其起點
 ノ腱ハ、膝關節ノ外半月状纖維軟骨ニ固着シ、膝
 關節ノ關節膜ニテ覆ハレ、乃チ脛ヲシテ、屈曲シ
 且ツ内轉セシム、
 長諸趾屈筋^甲ル、ムスラ^甲クテ、ハ、腓腸筋ニ覆ハレ
 テ、膝脛筋ノ下方ニ位シ、而シテ、小腿骨ノ殆ト下端
 ニ及フ、其全徑ヨリ起リ、其腹斜メニ進行シテ、腱
 ト為リ、又々内髌ノ後方ヲ下行シテ、跟骨凹陥ノ
 底面ニ、反轉シ、終ニ蹠ニ達セリ、此筋、長大趾屈筋
 ノ腱ヨリ、延長ヲ受ケテ、分裂シ、乃チ四個ノ腱ト

甲
ムスクルス、フレキ
ソル、ロングス、ホル
リシス、エデス、

乙
ムスクルス、チビ
リス、ポスチモス、

為り、前方ニ進モテ、短諸趾屈筋腱ノ孔中ヲ通過
大趾、他、終趾骨ノ根蒂ニ附着ス、
長大趾屈筋フコ、ヒ、グ、ウ、レ、キ、ト、ソ、ル、オ、ハ、前筋ノ外側
ニ位シ、輔腿骨ノ下部ヨリ起リ、腱ト為リテ、内踝
ノ後方ヲ下行シ、跟骨ノ凹面ニ達シ、蹠ノ前方ニ
反轉シ、長諸趾屈筋ノ腱ニ延長ヲ授ケ、而后チ進
シテ、大趾ノ終趾骨ノ根蒂ニ附着ス、
後小腿骨筋ポ、ア、ル、テ、リ、オ、ク、ル、チ、ハ、前筋ノ中間ニ
位シ、骨間膜ノ面、及ヒ小腿骨ト、輔腿骨トノ隣接
縁ヨリ起リ、其束、腱ト為テ、内踝ノ後溝ヲ下行シ、

甲
マ、ス、ク、ル、フ、レ、キ、
ル、ブ、レ、ウ、キ、ス、デ、
チ、ト、リ、ユ、ム、ペ、チ、
ス

乙
マ、ス、ク、ル、フ、レ、キ、
ル、ア、セ、ッ、ソ、リ、ユ、ム、
マ、ス、ク、ル、ア、セ、ッ、
リ、ユ、ム、フ、レ、キ、ソ、リ、
エ、ス、ロ、ン、ギ、テ、チ、
リ、ユ、ム、ベ、チ、ス

次ニ跟骨ノ底下ニ進ミ、舶様骨及第一蹠骨ノ基
礎ニ附着シ、作用ハ足跗ヲ伸展スルナリ、
足蹠筋
短諸趾屈筋ル、シ、ヨ、ル、ト、フ、レ、キ、ソ、ハ足蹠筋莖及跟
骨ノ内結節ヨリ起リ、筋莖ノ中部ヲ以テ、菴ハレ
前方ニ進ミ、四蹠ニ終リ、長諸趾屈筋腱ノ通孔ヲ
穿貫スルノ后、第二諸趾骨ノ基礎ニ附着ス、
副屈筋フ、レ、キ、ソ、リ、ル、ハ、跟骨ノ凹陥及下部ヨリ起
リ、長大趾屈筋ノ腱中ニ託雜ス、故ニ名稱ヲ以テ
示ス、如ク恰モ其副頭ニ似タリ、

甲
マスケル、ロシブリ
ケトル、スベヂス

乙
マスケル、アブド
クトル、ポルリシ
ス、ベヂス

丙
マスケル、フレキ
ソル、ブレヂス、ホ
ルリシス、又ハ
ルリユシス、ベヂス

角音言堂
卷之七

蟲様筋 ロシブリカ ハ四箇ノ筋束ニシテ手掌ニ
於ケル者ノ如シ長諸趾屈筋ノ腱ヨリ起リ前行
シテ諸趾伸筋ノ腱及其第一趾骨ノ基礎ニ附着
ス

大趾外送筋 アブドクトル、ト、ト、ト、ト、ト、ト ハ足蹠ノ内側ニ
占居セル諸筋中尤モ表層ニ在ル者ニシテ跟骨、
船様骨、内楔状骨及足蹠筋莢ヨリ起リ前方ニ進
ミ腱ト為リ大趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ附着ス

短大趾屈筋 シヨル、ト、フレキソル、ト、ト、ト、ト ハ一對ノ筋腹
トナリ骰子骨及外方二箇ノ楔状骨ヨリ起リ前

甲
マスケル、アッド
クトル、ホルリシ
ス、又ハルリユシ
ス、ベヂス

乙
マスケル、タラン
ス、ウエルサリス
又タラン、ス、ウエ
ルシユス、ベヂス

方ニ進ミ腱様ニ為リ大趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ
附着ス此二箇ノ筋腹間ニ長屈筋ノ腱ヲ狭ム
大趾内送筋 アッドクトル、ト、ト、ト、ト、ト、ト ハ骰子骨及第三、第
四蹠骨ノ基礎ヨリ起リ腱様ニ為リ大趾ノ第一
趾骨ノ基礎ニ附着ス

横筋 タラン、ス、マスケル 數箇ノ筋束ヲ以テ第二、第三
及第四蹠骨ノ首頂ヨリ起リ腱様ニ為リ大趾ノ
第一趾骨ノ基礎ニ附着ス

セサム骨ハ大趾ノ第一趾骨ノ基礎ニ託着セル
諸筋ノ腱中ニ包藏サレ其運用ノ間蹠骨ノ頭上

